



# 2024年12月期 第3四半期決算 補足説明資料

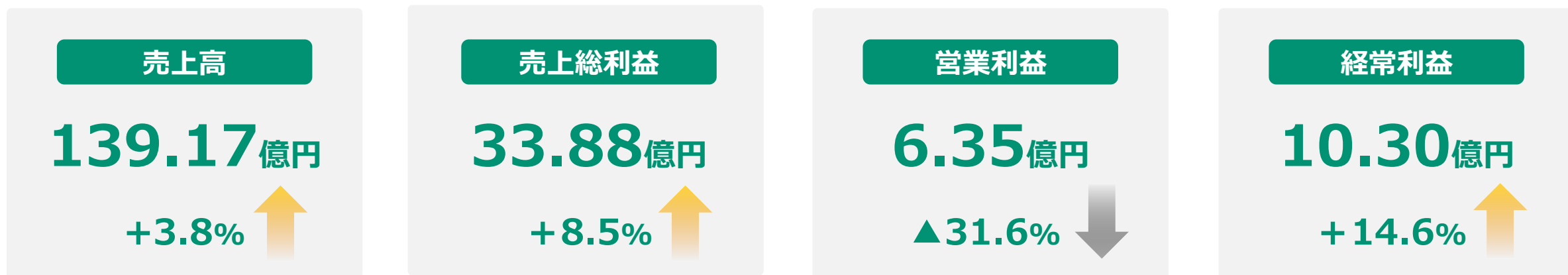
証券コード：3968

2024年11月14日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

# ハイライト：業績

納期遅延解消特需のあった昨年を上回り  
 第3四半期累計における売上高、売上総利益の過去最高を達成  
 M&A、株主優待関連費用により営業利益は減益も、社内計画は超過



- 売上高・売上総利益：既存ビジネスは前年同期並みに推移。子会社化したFirst One Systems社、テクノクリエイション社の売上を追加し、増収増益
- 営業利益：販売管理費増（M&A関連費用、株主優待費用、人件費等）により、減益
- 経常利益：1Qに計上したデリバティブ解約益により増益
- 社内計画：売上高及び各段階利益は社内計画を超過し、順調に進捗

# ハイライト：連結損益計算書

中長期的な投資及び株主優待等により昨年対比で減益となるも  
 納期遅延解消による特需で大きく進捗した昨年並みに推移し  
 売上高及び各段階利益は社内計画を超過

単位：百万円

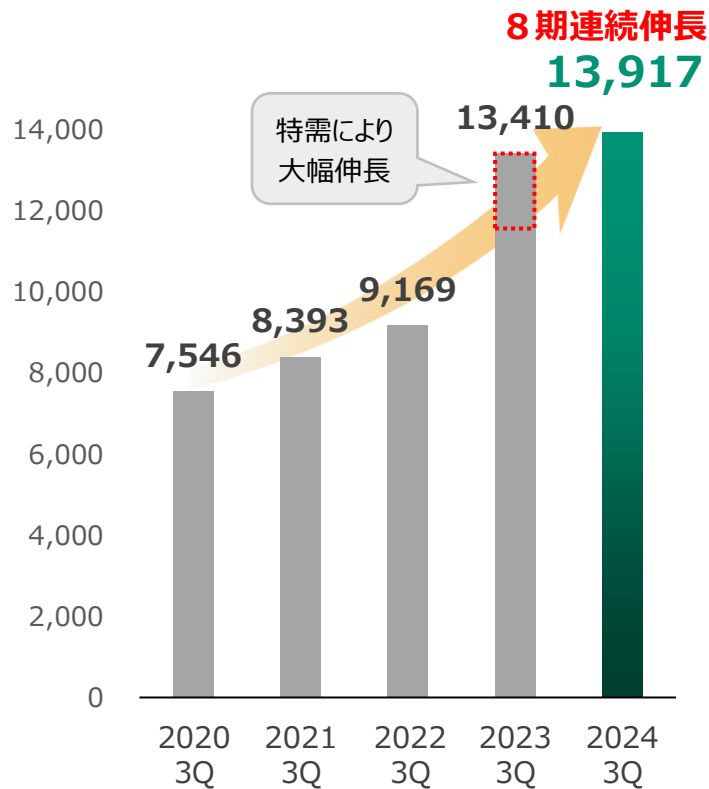
	2022.12 3Q	2023.12 3Q	2024.12 3Q	前期比		詳細
				増減額	増減率	
売上高	9,169	13,410	13,917	+506	+3.8%	既存ビジネスは前期の高水準維持。更に子会社2社の売上が追加
売上総利益	2,506	3,122	3,388	+265	+8.5%	増収効果に加え、VAD事業の収益性改善が貢献
(利益率)	27.3%	23.3%	24.3%	+1.1pt		-
販売費及び 一般管理費	1,934	2,192	2,752	+559	+25.5%	2Qで生じたM&A・株主優待費用に子会社2社の販管費が追加
営業利益	571	929	635	▲293	▲31.6%	上記販管費を除外した場合は前年同期比▲14.4%に留まる
(利益率)	6.2%	6.9%	4.6%	▲2.4pt		-
経常利益	711	899	1,030	+130	+14.6%	1Qで発生したデリバティブ評価益（404百万円）により増益
(利益率)	7.8%	6.7%	7.4%	+0.7pt		-
純利益※	584	596	614	+18	+3.1%	有価証券売却益（25百万円）が加算

※親会社株主に帰属する中間純利益

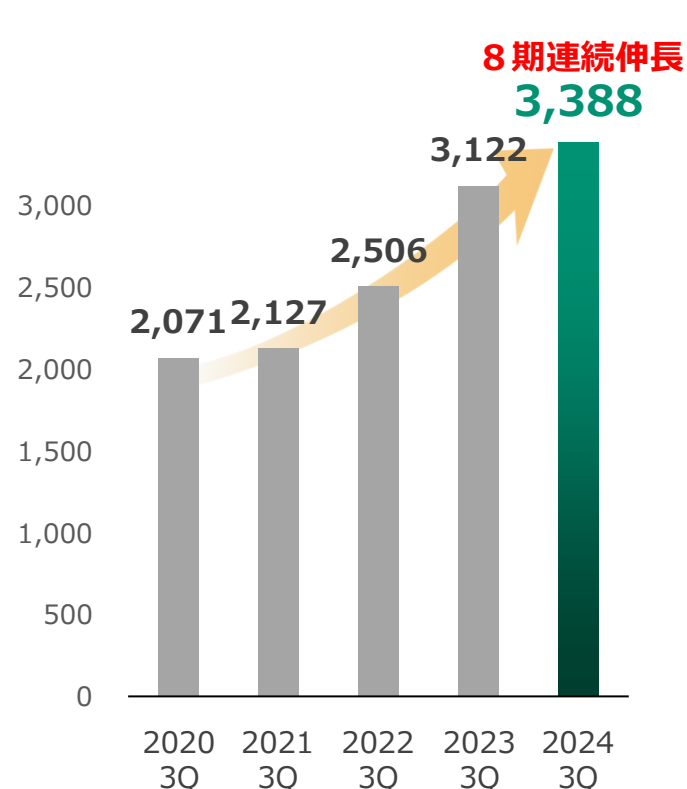
# ハイライト：業績推移（第3四半期累計）

M&A、優待関連費用等により営業利益は減益も、売上高と売上総利益は納期遅延の解消による特需で約46%伸長した昨年を上回り  
**第3四半期における過去最高額を8期連続で更新！**

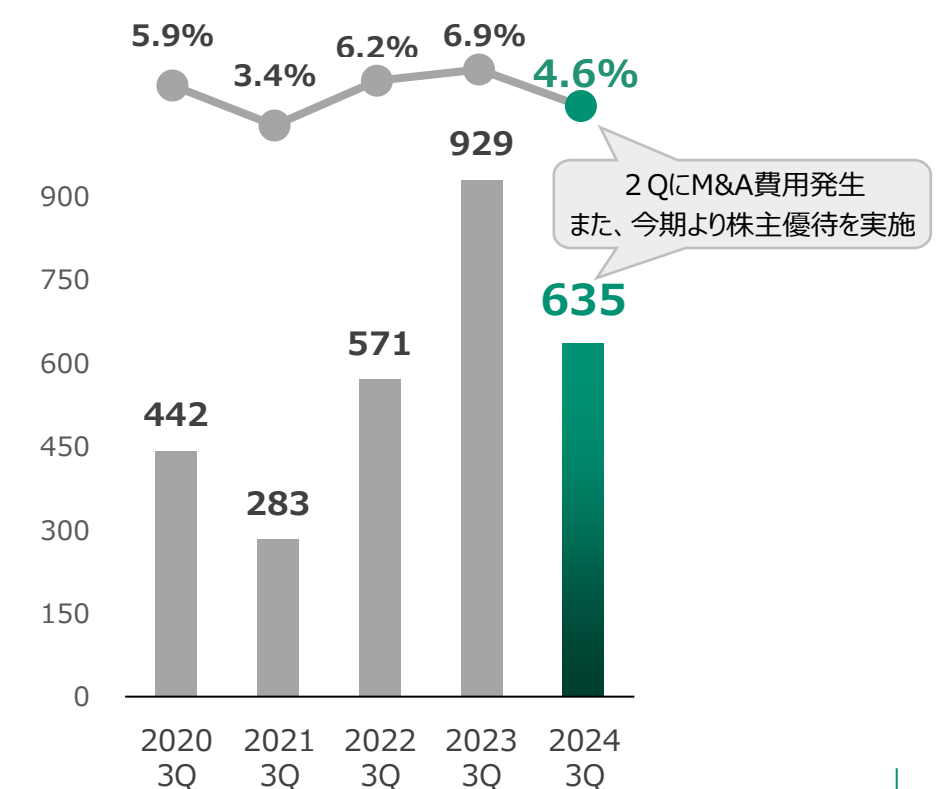
売上高（百万円）



売上総利益（百万円）

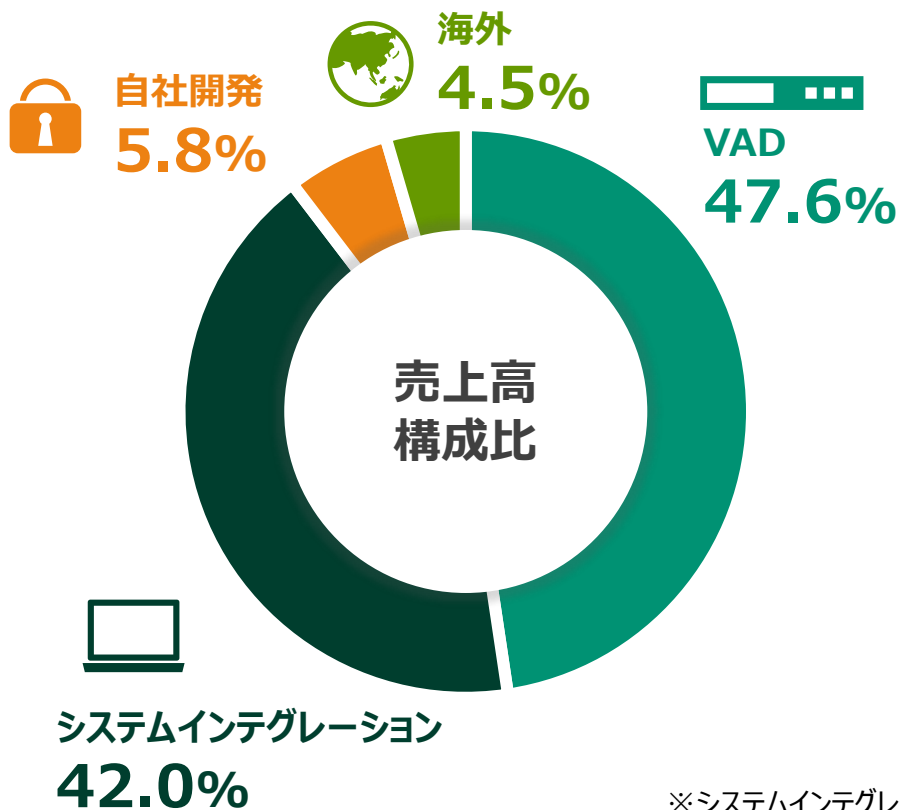


営業利益（百万円）  
営業利益率（%）



# ハイライト：ビジネス別数値

VADは、売上高は特需のあった昨年並みの水準を維持、サポートサービスの利益率改善により増益  
 システムインテグレーションは、低利益の大型案件のあった昨年に対し、売上総利益が増加  
 自社開発は、セグエセキュリティのサービス及びRevoWorks従来製品の売上伸長により、増収  
 RevoWorksクラウド開発費の償却開始により減益  
 海外ビジネスを当四半期から追加。社内計画超過にてスタートを切る



VAD ビジネス	<b>売上高</b> 66.30億円 ▲0.9%	<b>売上総利益</b> 15.63億円 +10.4%
システム インテグレーション ビジネス	<b>売上高</b> 58.43億円 ▲0.2%	<b>売上総利益</b> 11.69億円 +6.1%
自社開発 ビジネス	<b>売上高</b> 8.13億円 +22.4%	<b>売上総利益</b> 4.46億円 ▲13.9%
海外 ビジネス	<b>売上高</b> 6.29億円	<b>売上総利益</b> 2.07億円

※システムインテグレーションビジネスに含んでいたISS Resolutionと、当四半期から計上のFirst One Systemsを海外ビジネスに区分。システムインテグレーションビジネスの前年同期比は、前期から海外ビジネスを区分けしていたと仮定して算出。

# ハイライト：受注の状況

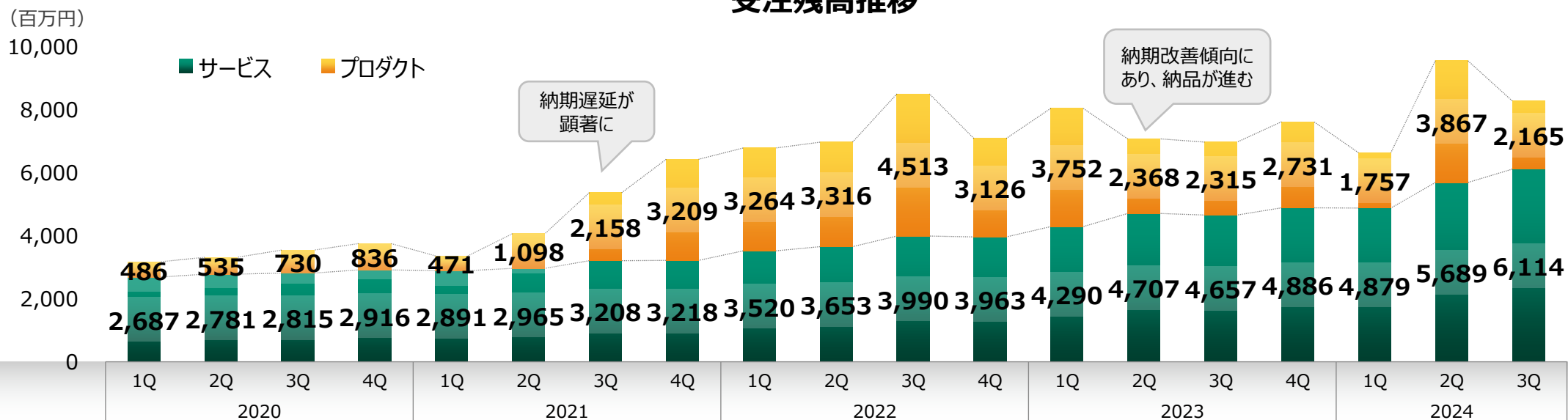
**プロダクト及びサービスの受注高は、約10%増加**  
**ストック性の高いサービスの受注額は大きく進捗し、受注残高も増加**

受注高推移（第3四半期時点）

単位：百万円

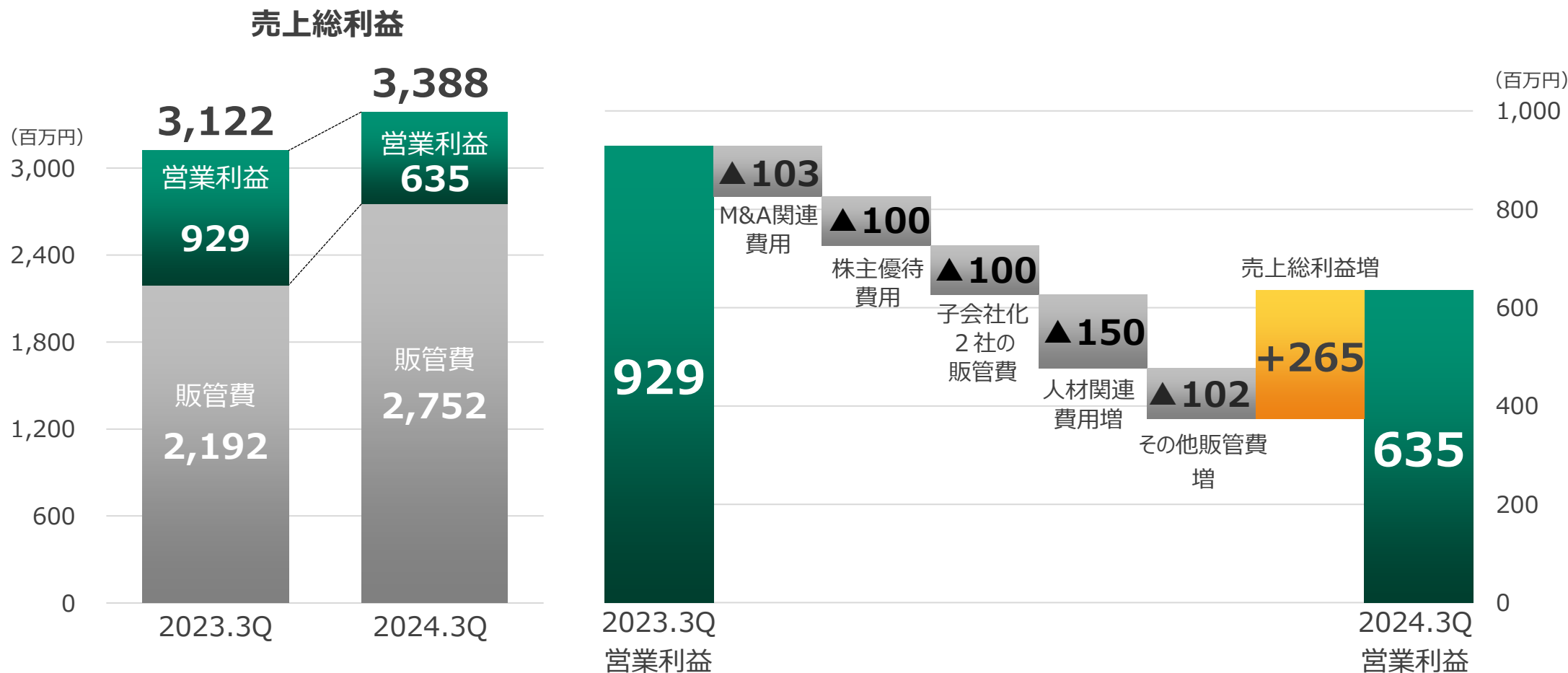
	2021.3Q	2022.3Q	2023.3Q	2024.3Q	2024/2023比 増減率
プロダクト	5,595	6,948	7,650	7,574	▲1.0%
サービス	4,413	4,295	5,642	7,005	+24.2%
合計	10,008	11,244	13,293	14,579	+9.7%

受注残高推移



# ハイライト：営業利益増減内訳

中期経営計画達成に向けた大幅な人員強化に加え  
 2Qに計上したM&A関連費用、株主優待費用、  
 子会社化した2社の販管費を計上し、販売管理費が約5.6億円増



# ハイライト：連結貸借対照表

グループ会社2社の加入により、固定資産（のれん）が増加  
 一方で、在庫の消化により、棚卸資産は減少  
 ストック型サービスの増加により、将来の売上になる前受金は大きく増加

単位：百万円

	2023.12 3Q	2023.12 期末	2024.12 3Q
<b>流動資産</b>	<b>9,816</b>	<b>10,029</b>	<b>10,348</b>
現金・預金	3,073	3,357	2,949
受取手形、売掛金及び 電子記録債権	2,164	2,018	3,298
棚卸資産	2,828	2,848	2,119
その他	1,750	1,805	1,979
<b>固定資産</b>	<b>1,558</b>	<b>1,802</b>	<b>3,110</b>
有形固定資産	336	377	379
無形固定資産	257	263	1,586
投資その他資産	964	1,161	1,144
<b>資産合計</b>	<b>11,375</b>	<b>11,831</b>	<b>13,459</b>

	2023.12 3Q	2023.12 期末	2024.12 3Q
<b>流動負債</b>	<b>6,429</b>	<b>6,853</b>	<b>8,043</b>
買掛金	1,370	1,512	1,624
短期借入金等	302	273	539
前受金	3,817	4,018	4,627
その他	939	1,048	1,252
<b>固定負債</b>	<b>998</b>	<b>963</b>	<b>1,872</b>
長期借入金	591	544	1,383
その他	406	419	488
<b>負債合計</b>	<b>7,427</b>	<b>7,817</b>	<b>9,916</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,947</b>	<b>4,014</b>	<b>3,542</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>11,375</b>	<b>11,831</b>	<b>13,459</b>



## ■ VADビジネス

- ✓ ITインフラプロダクトの販売が伸び悩むも、セキュリティプロダクトは中央省庁向けの販売が牽引し好調に推移

Rapid7製品の売上が前年同期比で+188%、Darktrace製品の売上が前年同期比で+39%

- ✓ サポート体制の最適化による原価低減を行い、サポートサービスの利益率が上昇

## ■ システムインテグレーションビジネス

- ✓ 中型案件を積み上げ、エンドユーザー開拓が進み、売上総利益が増加

- ✓ テクノクリエイションの売上も含み、順調に進捗

## ■ 自社開発ビジネス

- ✓ RevoWorksは、県庁はじめ地方自治体、高いセキュリティ基準を必要とする政府機関、病院等の案件を着実に獲得

新製品「RevoWorks ZONE」の開発開始

- ✓ セグエセキュリティは、計画通り利益を積み上げる。年内黒字化を目指す

## ■ 海外ビジネス

- ✓ First One Systemsが加わり、3Qは社内計画を超過し、受注残高も積み上げ順調なスタートを切る

# ジェイズ・テレコムシステム株式会社の非子会社化

- 10月31日、ジェイズ・テレコムシステムの株式の95%をNSK株式会社へ譲渡し、非子会社化
- 音声系ネットワークインテグレーターが元であるジェイズ・テレコムシステムの株式譲渡を行い事業を整理することで、セキュリティ分野へと集中し、トータルセキュリティソリューション事業の展開を図り「セキュリティ分野での多様な機能を提供する唯一無二の存在」を目指す

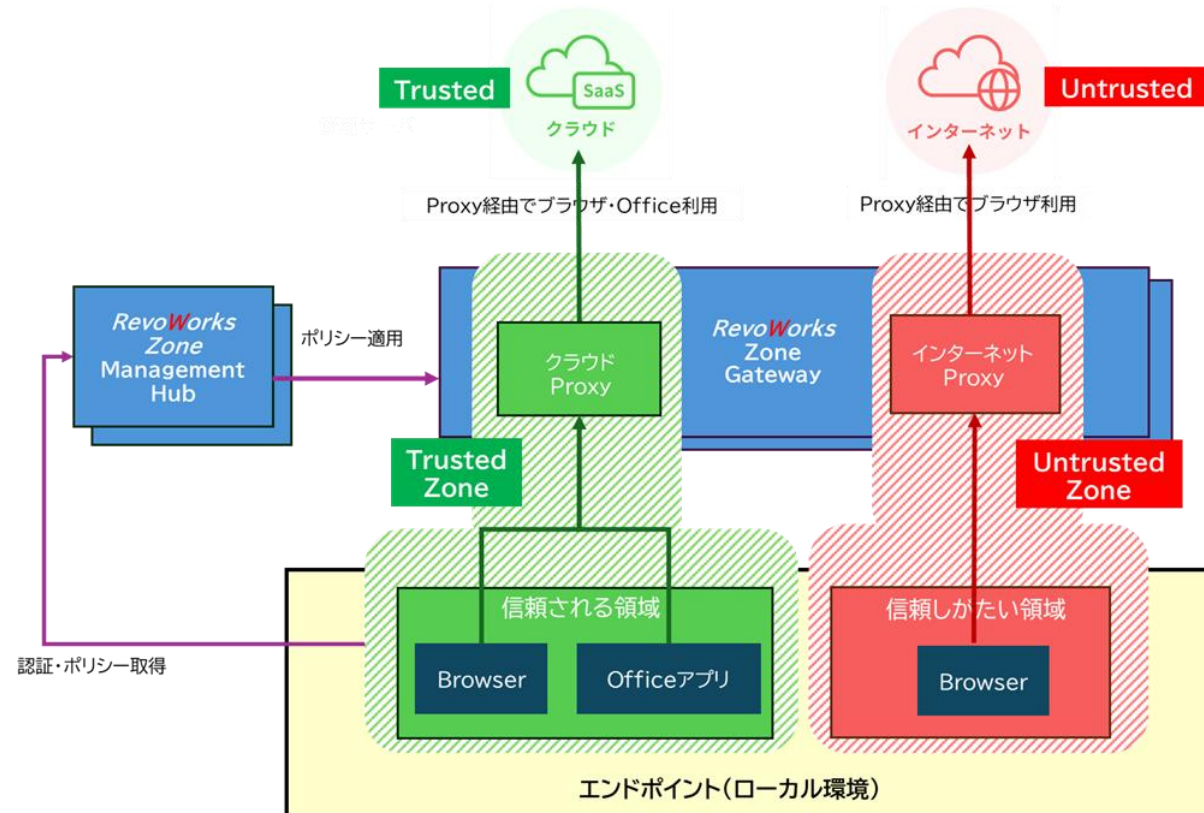


## RevoWorks ZONEの開発

安全なクラウドとインターネットアクセスを実現する「RevoWorks ZONE」の開発を開始  
2025年4月1日販売開始予定、インターネット分離だけでなくゼロトラスト含む全市場  
に訴求し、新たな市場獲得を目指す

### <ポイント>

- ✓ 多重機能を備えたゾーン（仮想空間）を2つ形成、クラウドアクセスとインターネットアクセスを別空間で扱う
- ✓ ゾーンごとにアクセス制御し、データ保護、情報漏洩対策を強化
- ✓ ゾーンのプログラム実行制御により、マルウェア等の実行を防御



# ハイライト：通期計画に対する進捗

## 売上高及び各段階利益は社内計画を超過し、順調に進捗

単位：百万円

	2023.12 3Q	2024.12 3Q	前期比		通期計画 (2024年4月12日 修正)	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	13,410	13,917	+506	+3.8%	18,800	74.0%
売上総利益	3,122	3,388	+265	+8.5%		
(利益率)	23.3%	24.3%	+1.1pt			
販売費及び 一般管理費	2,192	2,752	+559	+25.5%		
営業利益	929	635	▲293	▲31.6%	960	66.2%
(利益率)	6.9%	4.6%	▲2.4pt		5.1%	
経常利益	899	1,030	+130	+14.6%	1,330	77.5%
(利益率)	6.7%	7.4%	+0.7pt		7.1%	
純利益※	596	614	+18	+3.1%	773	79.5%

※親会社株主に帰属する中間純利益

※今期は、営業外費用にデリバティブ評価益（404百万円）、特別利益に有価証券売却益（25百万円）を計上

# 資本政策・株主還元

## 自己株式消却

2024年11月5日、当社が保有する自己株式全ての消却を実施済み

消却した株式数：1,500,030株

(消却前の発行済株式総数に対し4.4%)

プライム市場上場を継続する上で課題としている流通株式時価総額の基準達成に向け

流通株式比率を改善を図る

本自己株式の消却により、流通株式比率が約2.3ポイント改善すると見込まれる（当社試算）

## 自己株式取得

資本効率の一層の向上を図るため自己株式の市場買付を新たに実施

株数：400,000株（上限）

金額：230,000,000円（上限）

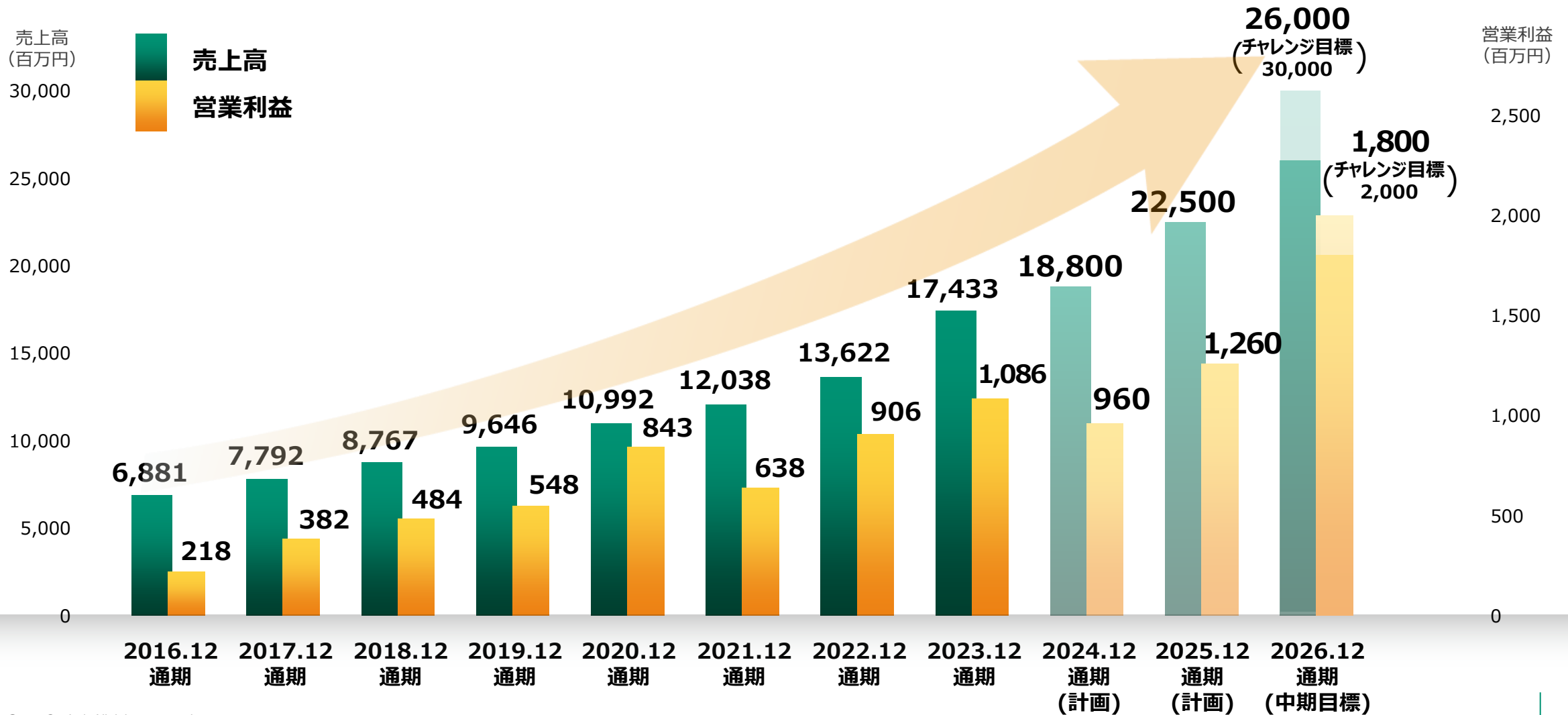
期間：2024年11月15日～2024年12月23日

## 株主還元

配当性向：来年度も50%目標を維持する方針

株主優待：来年度も継続の方針

## 中期目標の達成・超過、その先のさらなる飛躍に向けて 今期は投資しながらの計画達成を図ります



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。  
本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

## IRについてのお問い合わせ先

**セグエグループ株式会社 経営企画部 IR担当**

<https://segue-g.jp/ir/contact/>